

議会だより のたぎ

2026
2/13
第174号

おもな
内容

第10回定例会（令和7年12月）など

新年のご挨拶…………… p2

村政を問う（一般質問） …… p4～p9

アヲビの口開け風景（長根浜）

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、大きな希望をもって新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、大船渡市での大規模林野火災をはじめ、全国各地でさまざまな災害が発生いたしました。本年は、平穏な年であることをお祈りいたします。

さて、昨年6月には、道の駅のだ「ぱあふる」が移転オープンし、地域の新たなにぎわいの場として大いに期待されております。また8月には、野田小学校が移転新築され、子どもたちが地域に見守られながら健やかに成長できる新たな教育環境が整いました。

当議会といたしましては、広報広聴常任委員会を新たに設置するなど、議会改革をさらに進め、村政の課題解決に全力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって健康で実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

議員一同



(前列左から) 山田陽子、米田忠一議長、米田徳一郎副議長

(後列左から) 小野寺豊、丹野和子、中川大和、中川昇、小野寺光男、前川安男

一般会計補正予算

クマなど有害鳥獣対策強化

12月定例会

補正予算

第10回野田村議会定例会が令和7年12月9日から12日までの4日間を会期に開催されました。

本定例会では、一般会計補正予算、条例の一部改正、公の施設の指定管理者を指定する議案など31件、報告2件を審議しました。また、一般質問は11日、5名が登壇しました。今回の補正は、歳入歳出それぞれ8112万8000円を追加し、総額を49億1190万3000円としました。歳出のおもなものは、目撃情報が相次いでいるツキノワグマなどの有害鳥獣対策を強化する費用や、物価高対応子育て応援手当給付、生活困窮者冬季特別対策等のほか、給与改定に伴う一般職給与費等の人件費です。



物価高対応子育て応援手当 1,260万円

物価高の影響が大きい子育て世帯を力強く支援
子ども一人当たり2万円を給付

おもな事業



有害鳥獣対策経費 78万6,000円

有害鳥獣の被害を軽減する対策を
さらに強化

全村民に村共通商品券を交付

1月臨時会



●● おもな内容 ●●
生活者支援対策
全村民に一人当たり2万5,000円分の
村共通商品券を交付

第10回野田村議会臨時会が令和8年1月7日開催され、一般会計補正予算の議案1件、全村民に2万5000円分の商品券を交付するなど、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に要する経費を審議し可決されました。今回の補正は、歳入歳出それぞれ1億1505万3000円を追加し、補正後の予算総額を50億3115万6000円としました。

議会傍聴できます！

12月定例会、一般質問の11日は9名が傍聴し、役場にインターンシップ（就業体験）で来ていた、久慈翔北高校2年生の中屋敷平さん、田中愛衣さんも傍聴しました。感想の一部をご紹介します。

- ・1回目以降の質問、受け答えはその場で考えてすぐに答えなければならないはずなのに、正しい敬語や法律の名前などがスラスラ出てくるのはすごいと思いました。
- ・初めて議会を傍聴しましたが緊張感がありました。クマ被害が多いので、もっと良い対策をとってほしいと思います。



▲ 12月定例会での審議を聴く傍聴者

次の定例会は**3月**です！

村政を問う

議員 **5** 名が登壇

- 一般質問は、村の行財政全般に関し、原則定例会で村の将来への方針や目標、地域や住民生活がよりいっそう豊かになるための課題などを質問できます。
- 質問時間は、1人60分までで、1つに3回まで質問できます。

質問議員（質問順）	質問事項	掲載ページ
おの でら 小野寺 ゆたか 豊	1 道の駅に隣接する山林の活用について 2 茅葺の曲り家について 3 防災無線のアナウンスについて	5
たん の かず こ 丹 野 和 子	1 新しい野田村総合計画について 2 ツキノワグマ対策について 3 野田村に子ども食堂を	6
なか がわ ひろ かず 中 川 大 和	1 物価高騰対策について 2 ガソリン税などの暫定税率廃止に伴う影響について 3 ナラ枯れ対策について	7
なか がわ のぼる 中 川 昇	1 物価高対策について 2 学校給食費無償化について 3 「4村サミット共同宣言」について 4 リチウムイオン電池の分別収集について	8
やま だ よう こ 山 田 陽 子	1 防災無線について 2 熊等の危機管理対策について 3 十府ヶ浦公園の街灯整備について 4 後期高齢者の健康保持増進事業について 5 旧道の駅等の環境整備と利活用について	9

将来像と特徴は



丹野 和子 議員

村長 最上位の基本目標は産業振興

問 令和8年度から令和17年度までの新しい野田村総合計画を策定中である。この計画策定のため、村民個人を対象にアンケートを実施したが、男女別、年齢別、職業別などに集計して計画に生かせないか。

村長 集計については、総合計画策定委員会で特別委員から提言をいただいているので、計画に反映させていく。

問 野田村の将来像に特徴は何か。

村長 次期計画は、復興ハード事業が完了したことや、現状の課題をふまえ、社会福祉、生活基盤、安全・安心の村づくりなど、これまでの施策を引き継ぎつつ、特別に力を入れた分野の産業振興を基本目標の最上位に掲げている。

問 計画の主要な指標の人口は令和2年の国勢調査の3936人をもとに推計されている。令和17年度の目標は3000人程度とされているが、当村は近隣町村

より減少率が少ないことを勘案し、推計より多くならないか。また、村民所得は生産年齢人口の減少に比例し減少すると推定されているが、生活していく村民に問題ではないか。

村長 素案の段階は国勢調査人口をもとに推計し、令和17年目標を3000人程度と推計したが、住民基本台帳の現状人口と推計を比較すると、緩やかな減少傾向にあるため、人口の将来展望は推計より多い3400人程度の目標値とした。

村民所得の目標数値は、将来に希望が持てるような数値になるよう検討していく。

ツキノワグマ対策

問 ツキノワグマの出没状況、今後の対策等は。

村長 11月末時点で目撃捕獲頭数は12頭である。村民への情報伝達は、現在進行形でクマがいる場合や、人身被害の危険性がある場合等には、防

災無線を活用し目撃場所を周知している。また、注意喚起は村公式SNSや村公式LINE等を活用している。

被害を未然に防ぐための対策として、鳥獣被害対策実施隊と協力しながら、有害個体の捕獲や追い払いを行う。さらに、近年多発する市街地等への出没に対応するため、改正鳥獣保護管理法に基づく「緊急銃猟」への対応は、全国事例を参考に、県の協力を得ながら体制整備を進める。

今後、クマの出没・被害発生情報など、場所や時刻等できる限り詳細な情報発信に努めていくので、目撃情報の提供について協力をお願いしたい。

野田村に子ども食堂を

問 「子ども食堂講座」が10月、本村で開催された。県内で子ども食堂を実施している市町村が多く、本村にも子ども食堂は必要であるので話し合いを続け、始められるよう援助が必要ではないか。

村長 子ども食堂は、子どもやその家庭等

が地域で気軽に食事をとることができる場であり、食事の提供を通じて子どもの栄養確保や子どもの居場所として、地域住民同士の交流や見守りの機能を持つ代表的な活動の一つである。

現在のところ、村内で子ども食堂の実施はないが、講座の開催等により、子ども食堂への理解が深まっていく。地域に果たす役割は大きいので、今後も関係団体と連携し普及啓発や支援に努める。



スマイルキッチン（子ども食堂）のようす



中川 大和 議員

物価高騰対策

重点支援地方交付金による支援は

村長 配分後、すみやかに取り組む

問 重点支援地方交付金の活用方法は。

村長 物価高騰は、村民の生活や事業活動に多大な影響を与えており、国からの配分額が決まりしだい、昨年実施した内容を柱としてすみやかに予算化と事業実施に取り組む。

再質問 物価高騰対策の給付に対して、対象を制限することなく公平に配分するべきだがどう考えるか。

村長 全体が対象をしぼるのに関しましては、国から配分される額に応じ検討する。

再質問 食料品の物価高騰特別加算分の支援の内容は。

村長 他市町村ではお米券等で対応するところもあるが、本村ではお米券の取り扱いや事業者での対応、米の確保などに課題があり、内容を精査して検討する。



ガソリン税などの暫定税率廃止に伴う影響

問 暫定税率廃止により、当村でも揮発油譲与税などの交付金が減収する恐れがある。どう対応するか。

村長 揮発油譲与税が減収になった場合でも、財政の健全化を維持し、住民サービスを継続させるため、自主財源の確保の強化に努めるほか、事務事業の見直しなど歳出削減の徹底を両輪で進める。

再質問 暫定税率の廃止で国でも多額の減収になる。他の交付金も減る可能性があるが、住民サービスの継続維持は可能か。

村長 減収分を地方交付税や普通交付税の増額を要望していくなど、状況を確認しながら行動する。

ナラ枯れ対策は

問 ナラ枯れが急速に拡大して対応が間に合わない状況、規模に

なっている。今後の村の対応は。

村長 これまでも順次駆除してきたが、制御は困難な状況である。今後は公園等の公共空間及び被害西端地域における被害範囲の拡大抑止と被害の激しい地域の道路等への倒木被害対策に重点を置き対応する。

再質問 民家等の近くのナラ枯れもあり、倒木が心配である。ホダ木の確保も心配されるが、どう考えるか。

村長 民家の被害木は、基本的には所有者が処分することになるが、個々の事情で難しい場合は、役場に相談してほしい。また、ホダ木の確保に関しては、どこも苦慮している状況なので情報を得ながら対応する。

令和8年1月7日に開催された第10回野田村議会臨時会で、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用するための関係議案が審議され、可決されました。

給食費の無償化を

教育長 令和8年度から実施



中川 昇 議員

教育長



おいしい給食を作っています！「学校給食センター」

これまで物価高騰への対応として、

問

学校給食は、子どもたちの心身の健康を支え、健やかな成長を育てる基盤であり、栄養や地域の食文化を学ぶ生きた教材として重要な役割を担っている。昨今の物価高騰の影響により、給食費は家計にとって大きな負担である。国では令和8年度から先行し、小学校の給食費を無償化するとしている。給食費の負担を心配せず、子どもたちが学校に通える環境を整えることは、将来世代への責任でもあり無償化が急務である。どう考えるか。

物価高対策を

問

長引く物価高騰が国民の生活を圧迫している。日々の暮らしに苦しんでいる人たちに、対し、いち早く支援を届けることが求められ、家計の負担軽減に向けた即効性ある緊急支援が必要である。自治体独自の物価高対策に活用できる「重点支援地方交付金」が拡充され、食料品に特化したクーポンの発行などが、物価高騰に対応することが必要である。どのようなスケジュールで迅速な支援につなげるか。

村長

エネルギー・食料品価格等の物価高騰は、村民の生活や事業活動に多大な影響を与えていると認識しており、

令和7年度も、重点支援交付金を有効活用して支援する。事業メニューは、国からの配分額がわかりしだい、速やかな予算化と事業実施に取り組み。

「4村サミット共同宣言」は

問

九戸村、田野畑村、県内4村は、令和5年10月に「4村サミット共同宣言」を発表し、産業振興、人口減少、企業誘致、移住・定住等の共通課題を検討し、4村で地域活性化の可能性を探る取り組みを行っているが、これまでの成果と今後、どのような連携事業に取り組んでいくのか。

村長

4村が連携して課題解決や情報発信、魅力向上に取り組むため「4村サミット共同宣言」を行った。これまで、イベント情報やイベント出演団体のリスト作成・共有による相互連携、職員の交流研修、県主催の企業誘致イベントでの共同PR活動など行っている。今後は、郷土芸能、道の駅などの共通資源を共

有・連携し、共通課題の解決に向け取り組む。

リチウムイオン電池の分別収集は

問

近年、廃棄物収集運搬車両等において、リチウムイオン電池などの小型充電式電池に起因する火災事故等が発生している。家庭ごみに混入して発火を引き起こす事例や携帯していて発火に気づかないケースなどが見られる。発火事故を起こさないよう住民の適切な廃棄のため、分別収集の対象に加えるべき。どう考えるか。

村長

村では、前田小路地区に開設している「リサイクル資源回収ステーション」内に小型家電回収ボックスを設置し回収を行っている。発火の可能性もあり、各地区のゴミステーションでの収集はできないため適切な廃棄方法など周知を行う。処分する際は、小型家電回収ボックスや久慈地区粗大ごみ処理場への直接搬入に協力をお願いする。

聞こえにくくなったことへの対応は

村長 希望世帯へ戸別受信機を設置



山田 陽子 議員

問

中平地区の懇談会で、今春防災無線の柱が移設されたことで、野田中学校の西側は防災無線が以前より聞こえにくくなったと改善の要望があった。早急な対応をすべきではないか。

村長

希望する世帯へ戸別受信機の設置を進める。

再質問

その後、調査しているか。戸別調査が必要と考える。また、戸別受信機の経費は。

村長

地区懇談会后、担当が現地に向き、屋外で確認したが、聞こえの基準などは、詳細に調査しないと判断できない。また、機器だけで1台4万円程度、ほかに工事が必要になれば、さらに経費はかかることになる。

村長

再調査には経費がかかるため、聞こえづらくなった方々の状況や世帯数等を担当が現地を確認しながら、聞こえない所には柔軟に対応する。

再質問

野田中学校より西側地区は広範囲に再調査すべきではないか。

クマなどの目撃情報を詳細に、また、LINE活用を。

問

危機管理対策として、防災無線によるクマなどの出没場所等を具体的に知らせしてほしい。また、村外にいても情報が届くLINEを活用してほしいがその対応は。

村長

クマの出没・被害発生情報などについて、場所や時刻等できる限りくわしい情報発信に努める。目撃情報の提供は、村民の協力をお願いする。村公式SNSやLINE等も活用し、引き続き情報発信に努める。

十府ヶ浦公園 街灯整備を

問

十府ヶ浦公園を利用するスポーツ少年団は、夕暮れには保護者の乗用車のライトや懐中電灯などを照らして陸上競技などを練習している。防犯対策としても、街灯整備が必要だが、どう考えるか。

村長

照明は、トイレ及び施設付近に設置しているが、広場内は、夜間利用を想定していないため設置がない現状であり、安全に利用できる時間帯で活動してほしい。

再質問

現状は夜間でもスパーキングなどで利用されている。少しでも安心安全な環境整備が必須だが、どう考えるか。

村長

設置費や維持経費等が掛かる中で、特にスポーツに関しては、代表者等から活動内容等を聞き取りながら、必要性を検討する。スポーツ以外の利用者にも広く意見を聞き検討する。

健康保持増進の取り組み

問

令和6年度から、後期高齢者の健康寿命の延伸及び介護予防を図りながら、健康保持増進事業に取り組んでいるが、これまでの事業内容と参加者数、成果と課題、令和8年度の事業は。

村長

高齢者への個別的支持は、低栄養と口腔機能低下のハイリスク者と健康状態不明者に対し、保健師・栄養士及び歯科衛生士が訪問し相談・指導をした。通いの場等への積極的な関与は、地区公民館を会場に歯科医師や歯科衛生士、保健師及び栄養士が健康講話、実技指導をし、令和6年度は72人。今年度は11月末現在で41人が参加。そのほか家庭訪問や健康相

談件数は、令和6年度の209件、今年度は11月末現在で305件。健康診者数と総合判定が「異常なし」の方が増加している。また、通いの場等への積極的な関与を行うためには、歯科医師、歯科衛生士等の実施体制確保の点から全30地区を一巡するのに3年を要することが課題。

令和8年度は、各種事業を継続実施することが重要と考える。生活習慣病等を予防し、できる限り長く在宅で自立した生活を送る高齢者が増えるよう取り組みを進める。

旧「道の駅」等加工施設を

問

旧「道の駅」の活用には、加工施設を整備してはどうか。また、歓迎塔は撤去するのか。

村長

加工施設での利用希望も村の活性化や生産者の所得向上の一環として十分公募の要件を満たす。効果的に活用されるよう公募で施設利用者を選定する方向。旧物産館は、年明けを目途に公募準備中。旧産直は、耐用年数の関係で令和8年度になる。旧観光物産館はあぶるの歓迎塔は、令和7年度中に撤去する予定である。

議案一覧

第10回定例会 12月9～12日

番号	議案名	議決結果
報告第1号	公用車の運行管理瑕疵に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について	—
報告第2号	道路施設の管理瑕疵に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について	
議案第1号	令和7年度野田村一般会計補正予算（第5号）	可決 (賛成全員)
議案第2号	令和7年度野田村簡易水道事業会計補正予算（第1号）	
議案第3号	令和7年度野田村下水道事業会計補正予算（第2号）	
議案第4号	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	
議案第5号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第6号	野田村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第7号	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第8号	会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第9号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第10号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	
議案第11号～第29号	公の施設の指定管理者を指定することに関し議決を求めることについて	
議案第30号	下安家漁港漁村再生交付金事業岸壁上屋工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	
議案第31号	令和7年度野田村一般会計補正予算（第6号）	

議案第11号～第29号の公の施設は次のとおりです。

指定の期間は令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間です。

ただし、国民宿舎えぼし荘の指定の期間は、令和8年4月1日から令和11年3月31日までの3年間。

施設の名称	指定管理者	施設の名称	指定管理者
南浜地区コミュニティセンター	南浜部落会	根井地区農村公園	根井部落会
下安家地区コミュニティセンター	下安家部落会	大葛地区農村公園	大葛部落会
新町地区コミュニティセンター	新町町内会	米田地区農村公園	米田部落会
北区地区コミュニティセンター	北区町内会	泉沢地区農村公園	泉沢部落会
野田村生活支援ハウス	社会福祉法人 野田白寿会	玉川地区農村公園 玉川地区活性化センター	玉川部落会
野田村保健センター集会室	本町・旭町町内会	上明内地区農村公園 上明内地区活性化センター	上明内部落会
国民宿舎えぼし荘	株式会社 のだむら	アジアの広場	日形井部落会
根井・和野平地区畑地かんがい施設	根井・和野平地区 畑地かんがい施設 管理組合	交流物産等複合施設	株式会社 のだむら
御台場農村公園	新山地区農村公園 管理委員会		

第10回臨時会 1月7日

番号	議案名	議決結果
議案第1号	令和7年度野田村一般会計補正予算（第7号）	可決(賛成全員)

※議長は採決に加わらない

おもな議会の動き

● 10月 ●

- 5日 野田村スポーツフェスティバルin十府ヶ浦公園
- 6日 泉沢地区二百十日祭・八幡宮祭
- 7日 岩手県町村議会委員長研修会（盛岡市）
- 15日 村政調査会
- 21日 九戸村合併70周年記念式典（九戸村）
- 21～24日 岩手県町村議会議長会政務調査会研修会（島根県）
- 25日 野田中学校文化祭
- 29～30日 北部地区町村議会議長会 国政要望活動（東京都）



10/25 野田中学校 文化祭

● 11月 ●

- 1日 野田小学校学習発表会
- 7日 町村議会広報担当者研修会（盛岡市）
- 11～12日 町村議会議長全国大会・政務調査会研修会（東京都）
- 17日 村政調査会
- 18日 令和7年度久慈地区市町村議会連絡協議会議員研修会・交流会（久慈市）
- 21日 軽米町町村合併70周年記念式典（軽米町）



11/1 野田小学校 学習発表会

● 12月 ●

- 5日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 6日 野田村保育所おゆうぎ会
- 6日 野田村消防団忘年会
- 7日 野田村商工会創立60周年記念式典
- 9～12日 第10回野田村議会定例会



11/7 町村議会広報担当者研修会



11/18 久慈地区市町村議会連絡協議会議員研修会・交流会

村長へ申し入れ書を提出

村議会では、議会改革等に関する調査特別委員会（米田徳一郎委員長）で検討してきた重点事項を取りまとめ、「議員のなり手不足対策及び議会への多様な人材の参画等」に関する申し入れ書を、12月9日に米田議長から小野寺村長へ手渡しました。

申し入れ内容は2点で、若者や女性、会社員などの多様な人材が議会に参画しやすいよう配慮を求める「低額な議員及び特別職の報酬の改善」と、タブレット端末等を活用した議会運営などに技術的・財政的な支援を求める「議会のデジタル化への支援」です。



小野寺村長に申し入れを手渡す米田議長



漁師 藤島夢也さん

がんばる 新米漁師

漁師の藤島夢也さんは、田野畑村出身の30歳。妻は野田村出身で子ども3人の5人家族です。

大好きな釣りが縁で野田村漁協の自営定置網に加入、多くの先輩方に支えられ正組合員に。今では、浜山丸の船長として働きながら磯漁師としても頑張っています。

今後は、ワカメ養殖にも挑戦したいとのことでした。

新規就漁者、担い手・後継者不足対策について何うと、海を好きな人を育てることと手厚い支援が必要と話してくれました。

議会だよりクイズ

問題

表紙写真は、何の「口開け風景」でしょう。

- ① ウニ
- ② ホタテ
- ③ アワビ



◀こちらからも応募できます！
村ホームページ「議会だよりのだ」につながります。
スマートフォン等のカメラ機能で読み取ってください。

【前号の答え】 ②4人
【当選者】 岩山仁さん、大沢華穂さん、宇部和行さん

正解者から抽選で3名に「野田村共通商品券」をプレゼント!

【応募方法】 村ホームページ「議会だよりのだ」応募フォームやはがきに答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は1人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。議会だよりに対するご意見もお待ちしています。

【応募先】 〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14 野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで

【締め切り】 3月20日消印有効

【当選発表】 次号発表

あとがき

輝かしい新春をお迎えることと心からお祝い申し上げます。
今年、60年に一度巡ってくる干支の組み合わせで「丙」と「午」が重なり太陽のような情熱や活動力を象徴する年のことです。
議会としても「干支にやかり二重、三重に皆様の「安全安心」とさらなる村の発展のために精進してまいります。
広報分科会として2号目になります。村民に寄り添う「議会だより」を発行しようとして試行錯誤を繰り返して頑張っています。開かれた議会、読みたい「議会だより」を目指して頑張ります。
皆さんのご意見、ご感想をお寄せ頂ければ、さらに励みになります。

米田 徳一郎

発行責任者

議長 米田 忠一

広報広聴常任委員会 広報分科会

委員長 丹野 和子
副委員長 米田 徳一郎
委員 小野寺 光男
委員 小野寺 豊